



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 日本コークス工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西尾 仁見

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長

(氏名) 鍛冶屋 和博

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	29,148	△5.9	666	△83.9	490	△88.0	334	△88.8
24年3月期第1四半期	30,966	1.7	4,145	22.0	4,071	29.6	2,982	△41.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 385百万円 (△87.1%) 24年3月期第1四半期 2,984百万円 (△41.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.11	—
24年3月期第1四半期	9.88	9.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	126,775	37,707	29.7
24年3月期	126,681	38,227	30.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,610百万円 24年3月期 38,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,500	△11.9	2,600	△62.8	2,000	△69.5	1,100	△74.8	3.64
通期	120,500	△4.3	8,400	△1.4	7,000	△2.5	4,100	△12.8	13.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

上記第2四半期連結累計期間業績予想に関しては、第2四半期の原料炭価格やコークス販売価格の現時点の見込みなどから、前回(平成24年5月11日)公表した業績予想値を修正しております。また、通期業績予想値は暫定的に、第2四半期連結累計期間業績予想値と同額を修正しております。なお、第3四半期の原料炭価格等の見込みが判明し、通期業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細は2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	302,349,449 株	24年3月期	302,349,449 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	530,312 株	24年3月期	530,088 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	301,819,276 株	24年3月期1Q	301,822,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	52,500	△10.9	2,500	△61.4	2,000	△70.4	1,100	△76.7	3.64
通期	109,000	△3.7	7,600	2.3	6,400	△14.4	3,700	△32.6	12.26

※1. 上記業績予想値は、前回（平成24年5月11日）公表した業績予想値から修正しております。

前回（平成24年5月11日）公表値	第2四半期（累計）	売上高	55,500百万円	営業利益	2,300百万円
		経常利益	1,800百万円	当期純利益	1,200百万円
	通期	売上高	112,000百万円	営業利益	7,400百万円
		経常利益	6,200百万円	当期純利益	3,800百万円

※2. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州政府債務危機による金融資本市場の変動や海外景気の下振れ等により、景気は依然として厳しい状況が続いているものの、東日本大震災からの復興需要等を背景として、生産や設備投資が緩やかに持ち直しております。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において製品の販売数量は増加したものの、価格下落の影響を受けたことや、前連結会計年度における連結子会社の譲渡により、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比18億1千8百万円減少の291億4千8百万円となり、利益面では、前期は期首に原料炭等の割安な在庫があったことおよび今期は逆に期首に割高な在庫があったこと等により、連結営業利益は、前年同期比34億7千8百万円減少の6億6千6百万円、連結経常利益は、前年同期比35億8千万円減少の4億9千万円となりました。

なお、四半期純利益は、前述の理由のほか、法人税等調整額の影響により、当第1四半期連結累計期間は、前年同期比26億4千8百万円減少の3億3千4百万円となりました。

(セグメントの概況)

石炭・コークス関連事業につきましては、売上高は、前年同期比8億5千2百万円減少の263億1千7百万円、営業利益は32億4千9百万円減少の11億6千1百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、業界全体の景気が厳しいなかで、受注額が大幅に減少したことや、前連結会計年度における連結子会社の譲渡等により、売上高は、前年同期比10億2百万円減少の17億2千8百万円、営業損失は1億2千4百万円（前年同期は1億5千7百万円の営業利益）となりました。

その他につきましては、売上高は3千5百万円増加の11億2百万円、営業利益は3千3百万円増加の4千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9千3百万円増加の1,267億7千5百万円となりました。増減の主なものは、受取手形及び売掛金の増加8億3千8百万円、流動資産「その他」の増加4億3千1百万円、投資その他の資産「その他」の減少4億1千9百万円、機械装置及び運搬具の減少4億円、有形固定資産「その他」の減少3億8千5百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6億1千3百万円増加の890億6千7百万円となりました。増減の主なものは、流動負債「その他」の増加8億2千1百万円、短期借入金の増加5億3千7百万円、賞与引当金の減少4億5千2百万円、支払手形及び買掛金の減少3億2百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5億2千万円減少の377億7百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表した連結業績予想値は、「当社の中核であるコークス事業の原料炭の価格取り決め期間が、四半期単位となっているため、7月以降については、原料炭価格およびコークス販売価格ともに第1四半期と同価格レベルとの前提で算定」として公表いたしました。

今回の第2四半期連結累計期間業績予想に際しては、第2四半期の原料炭価格やコークス販売価格の現時点での見込みなどから、売上高を35億円下方に、経常利益を1億円上方に、当期純利益を1億円下方に修正いたしました。

通期業績予想に関しては、上記事情に加え、第3四半期以降の原料炭価格およびコークス販売価格が未定であることから、暫定的に第2四半期連結累計期間業績予想と同じく、売上高を35億円下方に、経常利益を1億円上方に、当期純利益を1億円下方に修正しております。なお、第3四半期以降の原料炭価格およびコークス販売価格の見込みが判明し、通期業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,880	4,228
受取手形及び売掛金	9,229	10,068
商品及び製品	9,850	9,606
仕掛品	549	696
原材料及び貯蔵品	10,577	10,641
その他	4,323	4,755
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	38,393	39,979
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	63,459	64,353
減価償却累計額	△33,754	△35,048
機械装置及び運搬具（純額）	29,704	29,304
土地	41,264	41,000
その他	22,920	22,689
減価償却累計額	△13,540	△13,695
その他（純額）	9,380	8,994
有形固定資産合計	80,349	79,300
無形固定資産		
その他	488	464
無形固定資産合計	488	464
投資その他の資産		
その他	7,462	7,042
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	7,450	7,031
固定資産合計	88,288	86,795
資産合計	126,681	126,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,820	18,517
短期借入金	17,732	18,269
未払法人税等	241	144
賞与引当金	854	401
関係会社整理損失引当金	707	700
その他	4,932	5,753
流動負債合計	43,288	43,787
固定負債		
長期借入金	36,901	37,151
退職給付引当金	4,687	4,563
役員退職慰労引当金	162	156
環境対策引当金	3,037	3,037
その他	376	372
固定負債合計	45,165	45,280
負債合計	88,454	89,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	29,616	29,045
自己株式	△94	△94
株主資本合計	38,272	37,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	28
繰延ヘッジ損益	△139	△146
為替換算調整勘定	△35	27
その他の包括利益累計額合計	△149	△90
少数株主持分	104	96
純資産合計	38,227	37,707
負債純資産合計	126,681	126,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	30,966	29,148
売上原価	25,316	26,995
売上総利益	5,650	2,153
販売費及び一般管理費	1,505	1,486
営業利益	4,145	666
営業外収益		
受取利息	64	130
為替差益	107	67
その他	227	64
営業外収益合計	399	262
営業外費用		
支払利息	284	253
その他	188	185
営業外費用合計	473	439
経常利益	4,071	490
特別利益		
補助金収入	—	143
固定資産売却益	14	49
不適切取引損失引当金戻入額	135	—
その他	16	9
特別利益合計	167	203
特別損失		
固定資産圧縮損	—	130
固定資産除却損	78	93
その他	32	74
特別損失合計	110	299
税金等調整前四半期純利益	4,127	394
法人税、住民税及び事業税	147	100
法人税等調整額	1,000	△32
法人税等合計	1,148	68
少数株主損益調整前四半期純利益	2,979	326
少数株主損失(△)	△3	△8
四半期純利益	2,982	334

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,979	326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	3
繰延ヘッジ損益	△43	△6
為替換算調整勘定	49	62
その他の包括利益合計	4	59
四半期包括利益	2,984	385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,987	393
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

①前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	石炭・コーク ス関連事業	総合エンジ アリング事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	27,169	2,730	29,900	1,066	30,966	—	30,966
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	305	305	201	506	△506	—
計	27,169	3,035	30,205	1,267	31,473	△506	30,966
セグメント利益	4,411	157	4,568	14	4,583	△438	4,145

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△438百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△444百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	石炭・コーク ス関連事業	総合エンジ アリング事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	26,317	1,728	28,045	1,102	29,148	—	29,148
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	256	256	204	460	△460	—
計	26,317	1,984	28,302	1,306	29,609	△460	29,148
セグメント利益又は損失(△)	1,161	△124	1,037	48	1,085	△418	666

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△418百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。